

— 1. 支部長挨拶

日本気象学会北海道支部 支部長 稲津 將

日本気象学会北海道支部の皆様、

元気ですか！

冒頭より諸先輩の眉をひそめさせたのは、このたび令和3年度日本気象学会北海道支部長を仰せつかりました、北海道大学の稲津でございます。当支部の益々の発展を願い、「気合」と「仲間」をキーワードにご挨拶を申し上げます。



北海道支部会員は、気象庁における防災・予報、大学での研究・教育、及び事業者としての気象ビジネスに携わっている方または携わってきた方、気象学を学んでいる学生の方、気象予報士の方、並びに気象愛好家により概ね構成されています。とくに、気象庁で防災業務に従事されている方は、近年、職場を取り巻く厳しい環境に耐え、いつ起こるとも知れない災害に備えていることでしょう。「気合」のいる職場です。大学における研究も同様です。どんなに優秀な研究者であっても壁にぶつかっては転がり、理不尽にも研究の成果は必ずしも努力に比例しません。「気合」の他、「気転」も要ります。気象ビジネスにおいても、新規顧客の獲得、潜在ニーズの引き出しなど、研究と似たところがあるようです。強いて言うなら、顧客の「気持ち」も大事でしょうか。そして学生の皆様は、近い将来、このような気象にかかわる生業を得るべく、気象学を志していることでしょう。キの字が違いますが「期待」しています。

無論、上記は例に過ぎません。学会とは会員多様な状況をひとくくりにするものであり、つまりわれわれは「仲間」です。当支部では、気象にかかわる北海道在住の仲間同士が相互に情報を交換し、ともに学び合う場です。ぜひとも支部会員メーリングリストを通じて情報を共有し、諸行事に気楽に参加して下さい。また、同じく気象の「仲間」である気象予報士会北海道支部の皆様や、日本農業気象学会や日本雪氷学会等、隣接する学問分野との交流も進めたいところです。

さて、札幌での全国大会の開催が1年半後にせまります。日頃より支部活動にご理解いただいている支部会員の皆様に感謝し、コロナ禍にあっても支部運営に粉骨砕身の幹事の皆様および委託業者様を絶賛しつつ、「気合」を入れて準備にあたって参ります。

それでは皆様、一刻も早く住民へ気象防災情報を供し、一遍でも多くの論文を出版し、一円でも多くの利益を得るべく、そしてなにより一人でも多くの方、とくに若い方、が当支部に「仲間」として加わってもらえるように、一堂、にぎやかに参りましょう。